

テニスがもっと快適になる ストリングの基礎知識

From テニサポ



解説=小笠原爽太(テニスサポートセンター仙川店)

ストリンガー歴、店舗では5年、自宅で張っていた時期を含めたら10年。現在は前綾希子選手など、複数の選手の張りを担当。

知っているようで、実はあまり知られていないストリングのこと。今月も、読者から寄せられたストリングの素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。テニスライフの向上に役立ててください！

【今月のお題】

縦と横の張り方を 変えた際の効果と、 水塗れした時の対処。

Q
縦と横でテンションを
変える効果を
教えてください
(テニス歴6年 / Yさん)

飛び、打感、回転に影響する

縦と横でテンションを変えて、ボールの飛びや打感を変えることができます。また、回転をかけやすくなることもできます。ボールの飛びを少し抑えたい場合、縦糸はそのままで、横糸のテンションを2〜3ポイント落とします。反対に飛びを良くしたい場合は、横糸のテンションだけを変えるのではなく、縦糸と横糸の両方を少し下げることがあります。

打感に関しては、縦糸のテンションをそのままに、横糸のテンションを下げると柔らかく感じます。ただし打感を変えたい場合は、テンションで調整するよりもストリングの種類を変えた方が良いでしょう。(本連載第1回参照)

今のラケットは飛び重視が多く、スピンをかけて打つのが主流です。テンションを上げれば、回転をかけやすくなりますが、手の負担も大き



縦糸と横糸のテンションを変えるほかに、ストリングの種類を変えることでも、いつもとは違った打感や打球を得ることができます

くなります。スピンのかけやすさだけでなくアウトしてしまうくらいなら、まず横糸のテンションを少し落とす選択が良いでしょう。

ただし回転については、使うストリングの形状でも変わります。打ち方やスイングスピードにもよりますが、丸形状のストリングは、テンションを下げない方がストリングの動きが良くなり、スピンのかかる場合もあります。多角形ストリングはストリングが食い込むので、このように考える必要はありません。

また、縦と横のテンションを変える際にお勧めなのがハイブリッド。縦横を同じストリングで張るよりも、多くの効果を期待できます。硬いものを使えば飛びを良く、柔らかいものなら飛びを抑える効果を得られます。組み合わせ方は多いので、ストリンガーに相談してみてください。

ラケットの形状に注意

縦と横のテンションを変える場合は、ラケットの変形に注意しましょう。今のラケットは大きな変形は起きませんが、張り方や強さによって変形してラケットの性能を殺す可能性があります。わざと好みの形にする人もいますが、長い目で見たらラケットに良くありません。ラケットの形状に影響を与えないためには、ラケットの面の形が丸型なら横を下げる目安は2〜3ポイント、縦長は2〜5ポイントの範囲がおすすめです。

基本的に横糸のテンションを下げる選択が多いですが、ラケットの中には横糸の本数が少ない物もあるため、その場合は横糸のテンションを上げた方がラケットの性能が上がるようになることもあります。

テンションを変更する前にストリンガーに大まかな方向を相談できると、ラケットを変形させないで、良いセッティングに持っていくやすいでしょう。ストリングが切れたまま放置しておくと、縦糸と横糸のテンションのバランスが大きく変わってしまうので、絶対にやめてください。形状の変化だけでなく、最悪の場合ラケットの破損にもつながります。

雨でストリングが濡れました。

大丈夫ですか？

(テニス歴3年 / T・Wさん)

まずは、拭き取って乾かす

ストリングが雨等で濡れた時は、すぐに水分を拭き取ってもらえば影響は少ないです。ただしナチュラルとナイロン素材は、水分を吸収するため打感が変わったり、飛ばなくなったりします。プレーに影響が出るようであれば、ストリングに原因がある可能性があるため、切れてなくとも張り替えましょう。それ以外のストリングは、影響を受けにくいですが全くないわけではありません。濡れた場合はすぐ拭き取る。濡れたままの放置はダメ。湿度の高い時期は、乾燥剤の使用もお勧めです。

水に強いストリングは？

水分の影響を受けにくいものは、ナイロンモノタイプとポリエステル製のストリングです。雨が降る不安がある場合は、このタイプを使うと良いでしょう。普段ナチュラルを使用している方は、予備にこのタイプの

【ストリング都市伝説】

ストリングの素材が硬いと 打感も硬い

打感の差は、基本的には素材による変化が大きく、硬い素材は硬く、柔らかい素材は柔らかい打感になりやすいです。しかし打感人はそれぞれ違うので、スイングスピードや打ち方、張る強さによっては、当てはまらない場合もあります。一般論はあくまで一般論として捉え、試してみたいストリングがあったら、ストリンガーに自分の好みの感覚と打ち方、好きな打感等を相談してみると合ったものが見つかりやすいでしょう。



ナイロンモノやポリエステル製のストリングは雨の影響を受けにくいですが、ナチュラルなどは水分に弱いので取扱いには注意が必要だ

ストリングを張ったラケットを持っていると消耗を避けられます。また、雨が降っていないなくてもコートに水分が残っている場合は、ボールを伝って水分がストリングに付くので要注意です。濡れている状態のボールは、なるべく早めに交換した方がストリングは長持ちしてくれます。ストリングは環境の変化を受けやすいです。湿度が高い場所に長時間置くのを避けるのももちろん、できるだけ、風通しの良い環境でラケットを保管してください。